

03

おたるえき

JR 小樽駅（本屋 / プラットホーム）

- 所在地：小樽市稲穂2丁目22番15号
- 問合せ先：JR北海道小樽駅（TEL 0134-22-0771）



JR 小樽駅は近代以降鉄道のまちとして発展した小樽の主要な玄関口で、明治 36（1903）年に「小樽中央停車場」として開業して以来、たびたび駅名が変更され、大正 9（1920）年に「小樽駅」となります。現在の駅舎は昭和 9（1934）年に 3 代目駅舎として竣工しました。

国内に現存する数少ない昭和初期の鉄筋コンクリート造の近代駅舎で、駅前の急傾斜のアプローチを改良するため、本屋背面の 2 階にプラットホームを設ける上下構造を採用しています。外観は昭和 7

年に完成した東京の上野駅をモデルにしており、中央にトップライト付きの吹き抜けのホールを設け、左右を 2 階建、両端を平屋建とする左右対称のデザインになっています。

このスタイルは小樽駅竣工の前年、日本統治下で建設された、台湾の嘉義^{かぎ}駅と同様で、当時の主要都市の駅舎として代表的な構造でした。コンコース上の旧駅長室は建設当初の姿を残し、イベント時に特別公開されています。



1



2



3

【写真】 1 中央コンコース 2 JR小樽駅外観 3 プラットホーム（4番ホーム）